

(3) 特別活動研究部

① 研究の視点

特別活動における各領域の指導法を改善することにより、生徒一人一人が参加場面を多くし、意欲を喚起させる生徒活動のあり方を追求する。

② 視点についての考え方

特別活動の目標は、「望ましい集団活動を通して心身の調和を図り、個性を伸長するとともに、集団の一員として自覚を深め協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。」ことである。

これらの目標は、生徒活動、学校行事、学級指導の3つの内容が統合され相互に作用しあって達成されると考えられる。

昭和57年度は特に「生徒活動」のあり方に研究の焦点をしばり、教師と生徒が共に「やって良かった」「精一ぱいやりとげた」という共通な感動を呼び起こすような集会活動を運営することにより、学校生活に成就感を持たせ、ひいては学業指導の充実をねらってこの視点を設定した。

③ 研究の概要

ア 集会活動の充実

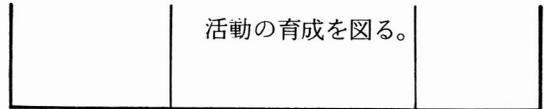
今年は生徒活動、学校行事、学級指導のそれぞれの目標を「生徒指導」という観点で見直し、相互に関連づけることにより生徒一人一人が何らかの形で意欲的に取り組める集会活動を実施した。

○ 目標関連図

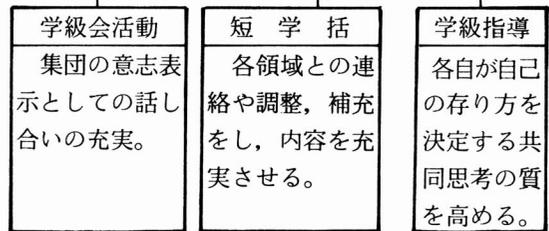
豊かな充実した学校生活

成就感・満足感・連帯感

各教科・道徳	生徒会、諸行事、“ききよう”の時間における集会活動	クラブ部活動
各教科、道徳における生徒指導の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集団の一員としての自覚 ○ 意欲的な参加態度 ○ 全校1つの輪 を目指した望ましい集団の育成	がんばり抜く意志と体力



生徒の主体的な行事へのとりくみ



○ 生徒一人一人が参加できる集会活動

(例) 「1学期を反省する会」

学年	題 材	個人が参加する場	学級、学年のとりくみ	発表者
一年生	中学生生活を振り返って	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作文発表 ・ 班会議 ・ 発表資料づくり ・ 発表補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級、学年代表の決定 ・ 発表資料づくり 	2名
二年生	我がクラスの10大ニュース	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人発表 ・ 班会議 ・ プリント作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級代表の決定 ・ 学年としてのまとめ 	2名

5. 研究の成果と今後の課題

試行錯誤の研究であったが、常に積極的、開発的な体制で研究できたことは成果である。

生徒指導の根幹は何はともあれ実践活動そのものである。今後とも教師の共通理解と共通実践を基盤とした一人一人の主体性の援助と指導の重要性を痛感する。